

# トモシンセシス対応マンモグラフィについて

## 一般的なマンモグラフィ

2Dマンモグラフィとも呼ばれます。早期の乳がんを見つけるための乳房専用のX線撮影です。

圧迫板で乳房を平たく伸ばすようにして、ポジショニングを行います。これは、診断に必要な良い画像を得るためにとても重要なことです。平たく伸ばすことで、放射線の被ばく量を減らす効果もあります。



## トモシンセシスとは

3Dマンモグラフィとも呼ばれます。

2Dマンモグラフィではとらえにくいような、乳腺に重なった病変を分離して描出することができる撮影法です。

乳房を圧迫している間、X線管という部分を動かしながら、複数の角度からX線照射を行います。この画像をもとに、乳房の断層画像を得ることができます。

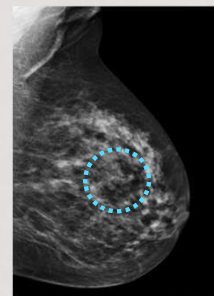
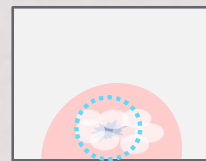
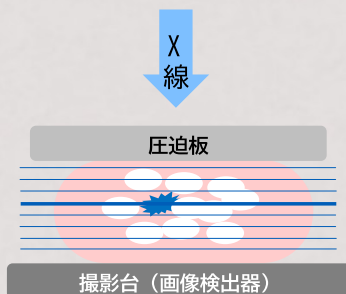
2Dマンモグラフィと比べ検出能が向上し、より正確な診断が可能になります。

2Dとトモシンセシスを両方撮影する場合は、2Dのみの撮影時と比べて圧迫の回数は変わりませんが、1回あたりの圧迫時間が7秒くらい長くなります。



### 通常の撮影 (2D)

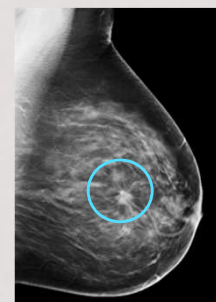
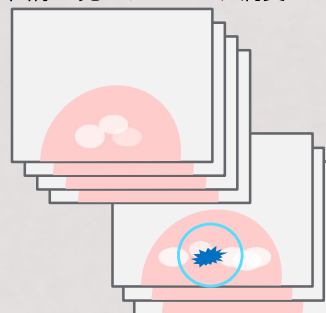
乳腺に病変が隠れてしまうことがある。



- 正常な乳腺
- ★ 病変

### トモシンセシス (3D)

断面の画像で見られるので、病変がはっきりと認識しやすい。



マンモグラフィ検査についてご不明な点やご不安なことがございましたら、お気軽に当院の医師またはスタッフにお尋ねください。